



# Acronis® True Image™ 2015

# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>3</b>
1.1	Acronis® True Image™ 2015 とは.....	3
1.2	このバージョンの新機能.....	3
1.3	システム要件.....	4
1.4	Acronis True Image 2015 のインストール、アップデート、アンインストール.....	4
1.5	試用版情報.....	5
1.6	Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム.....	6
1.7	Acronis へのご意見の送信.....	7
1.8	テクニカル サポート.....	8
<b>2</b>	<b>バックアップ</b> .....	<b>8</b>
2.1	基本的な概念.....	8
2.2	バックアップ可能な対象と不可能な対象.....	9
2.3	ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ.....	10
2.4	Acronis Cloud へのバックアップ.....	11
2.5	スケジュール設定.....	13
2.6	バックアップからの項目の除外.....	14
2.7	Acronis Cloud データ センターの選択.....	16
2.8	Acronis Cloud とは.....	17
2.8.1	Acronis アカウントの作成.....	17
2.8.2	Acronis Cloud のサブスクリプション.....	18
<b>3</b>	<b>ブータブル レスキュー メディアの作成</b> .....	<b>18</b>
<b>4</b>	<b>リカバリ</b> .....	<b>19</b>
4.1	Mac をリカバリするタイミング.....	19
4.2	Mac のリカバリ.....	20
4.3	Boot Camp パーティションに関する FAQ.....	22
4.4	ローカル バックアップからのファイルのリカバリ.....	22
4.5	Acronis Cloud からのファイルのリカバリ.....	23

# 1 はじめに

## このセクションの内容

Acronis® True Image™ 2015 とは.....	3
このバージョンの新機能.....	3
システム要件.....	4
Acronis True Image 2015 のインストール、アップデート、アンインストール	4
試用版情報.....	5
Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム.....	6
Acronis へのご意見の送信.....	7
テクニカル サポート.....	8

## 1.1 Acronis® True Image™ 2015 とは

Acronis True Image 2015 とは、オペレーティング システム、アプリケーション、設定、すべてのデータなど、お使いの Mac の情報をすべて保護するアプリケーションです。Mac を保護するには、2 つの簡単な操作を実行する必要があります。

### 1. Mac の完全バックアップを作成する

この操作により、オペレーティング システムのファイルおよびすべてのデータが、バックアップというファイルに保存されます。このファイルはローカル ストレージやネットワーク ストレージに保存したり、Acronis Cloud にアップロードすることができます。詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『10ページ』」および「Acronis Cloud へのバックアップ 『11ページ』」を参照してください。

### 2. Acronis ブータブル メディアを作成する

これは、ブート ファイルが格納されているリムーバブル ドライブです。Mac が起動できなくなった場合は、このメディアによって、Acronis のリカバリ環境を起動し、バックアップを使用して、正常な状態に Mac をロールバックできます。詳細については、「ブータブル レスキュー メディアの作成 『18ページ』」を参照してください。

この 2 つの手順を実行することで、Mac OS X の修復、および見つからなくなったドキュメントのリカバリを数分で実行できるようになります。

#### 主な機能:

- 選択したディスクまたは Mac 全体の内容のローカル ストレージ、ネットワーク ストレージ 『10ページ』、または Acronis Cloud 『11ページ』 へのバックアップ
- ブータブル レスキュー メディアの作成 『18ページ』
- ブータブル メディア環境での Mac OS X のリカバリ 『20ページ』
- Mac OS X の特定のファイルおよびフォルダのリカバリ 『22ページ』

## 1.2 このバージョンの新機能

- **お客様用のフィードバック フォーム:** 新しくなったフィードバック フォームから、Acronis True Image 2015 に対するご意見、新機能のご提案、問題のご報告、弊社へのご意見をお送りください。とても簡単にご利用いただけます。皆さまからのご意見は、今後の

アップデートや修正の参考にさせていただきます。皆さまのご協力を活かして、Acronis True Image 2015 を改善していきます。詳細については、「Acronis へのご意見の送信 『7 ページ 』」を参照してください。

- **バックアップ除外のカスタマイズ:** バックアップを開始する前に、バックアップする必要のないファイルやフォルダを手動で指定できるようになりました。この機能により、バックアップ サイズを縮小し、バックアップ処理を迅速化することができます。Acronis True Image 2015 にはデータ除外の方法が 2 種類あります。特定の項目を指定する方法と、一度に複数のファイルを除外できるマスクを使用する方法です。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『14 ページ 』」を参照してください。

## 1.3 システム要件

サポートされるオペレーティング システム:

- OS X Mountain Lion 10.8
- OS X Mavericks 10.9
- OS X Yosemite 10.10

サポートされるファイル システム:

- Mac OS の拡張フォーマット (大文字と小文字は区別されません)
- FAT32
- exFAT
- NTFS (読み取り専用)

---

*NTFS ファイル システムではディスクにデータをバックアップできません。ただし、この種類のファイル システムに存在するバックアップからデータをリカバリすることはできます。*

---

**Acronis ブータブル メディアの要件:**

- ブータブル メディアを作成する場合、4 GB (またはそれ以上) の空き容量があるリムーバブル ドライブを使用できます。
- CD および DVD メディアはサポートされていません。

サポートされるストレージ メディア:

詳細については、「バックアップ可能な対象と不可能な対象 『9 ページ 』」を参照してください。

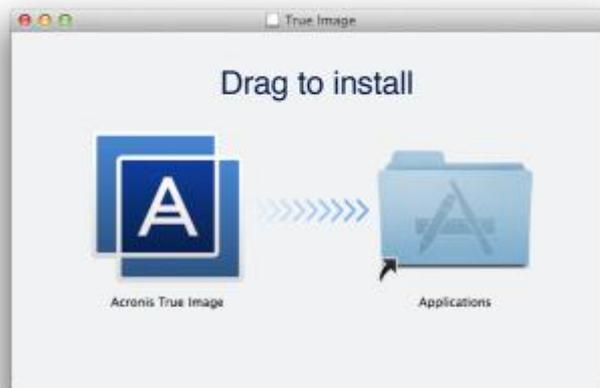
## 1.4 Acronis True Image 2015 のインストール、アップデート、アンインストール

### インストール

**Acronis True Image 2015 をインストールする手順は、次のとおりです。**

1. Acronis ウェブサイトから Acronis True Image 2015 セットアップ ファイルをダウンロードします。
  - 製品版を購入する場合は、[www.acronis.com/redirector/products/timac2014/getfullversion/](http://www.acronis.com/redirector/products/timac2014/getfullversion/) にアクセスしてください。

- 無償試用版を入手する場合は、  
[www.acronis.com/redirector/products/timac2014/getfreetrial/](http://www.acronis.com/redirector/products/timac2014/getfreetrial/) にアクセスしてください。
- 2. 使用許諾契約の条件および Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムの内容を読み、承諾します。
- 3. Acronis True Image 2015 セットアップ ファイル（ファイルの拡張子は .dmg）をダブルクリックします。



- 4. アプリケーション フォルダに Acronis True Image 2015 アイコンをドラッグします。

初めて Acronis True Image 2015 を起動する場合は、プロダクト キーを入力する必要があります。もしくは製品の試用版を開始します。

## アップデート

Acronis True Image 2015 では、Acronis ウェブサイトでアップデートが利用できる場合、自動的に通知されます。アップデートをダウンロードし、お使いの Acronis True Image 2015 のバージョンを上書きしてインストールできます。バックアップおよび設定はすべて保持されます。

## アンインストール

**Mac から Acronis True Image 2015 をアンインストールする手順は、次のとおりです。**

1. Finder を開き、[アプリケーション] をクリックします。
2. 一覧から Acronis True Image 2015 を探し、ゴミ箱にドラッグします。

## 1.5 試用版情報

Acronis True Image 2015 を初めて試用し、評価する場合は、製品の 30 日間の無償試用版をインストールすることができます。試用版ではすべての機能を使用できます。試用期間後、プログラムの機能がブロックされるため、引き続き Acronis True Image 2015 を使用するには製品版にアップグレードする必要があります。

試用期間が終了した後、バックアップは削除されず、Acronis True Image 2015 の製品版でリカバリする際に使用できます。

## Acronis Cloud

試用期間中、ストレージ領域に制限はありません。この容量を使用してオンライン バックアップを保存できます。試用期間終了後 30 日間、Acronis Cloud はリカバリ専用モードで動作します。この期間が過ぎると Acronis Cloud サービスは利用できなくなり、データはすべて削除されます。

試用版のサブスクリプションは Acronis ウェブサイト

(<https://www.acronis.com/ja-jp/my/online-backup/index.html>) でアップグレードできます。

## 試用版のインストール

試用版の使用を開始するには、製品をインストールして、**[試用を開始]** をクリックします。詳細については、「Acronis True Image 2015 のインストール、アップデート、アンインストール 『4ページ』」を参照してください。

## 製品版にアップグレード

製品版にアップグレードする手順は、次のとおりです。

1. 製品版を購入する場合は、Acronis ウェブサイト ([www.acronis.com/redirector/products/timac2014/getfullversion/](http://www.acronis.com/redirector/products/timac2014/getfullversion/)) にアクセスしてください。
2. Acronis True Image 2015 を起動します。
3. メニュー バーで **[Acronis True Image 2015]**、**[プロダクト キーを入力]** の順にクリックします。
4. 該当するボックスに完全なプロダクト キーを入力して、**[実行]** をクリックします。

## 1.6 Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム

Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム (CEP) は、Acronis のお客様が、Acronis 製品の機能、設計、および開発に貢献できる新しい手段です。このプログラムにより、お客様は、ホスト コンピュータや仮想マシンのハードウェア構成、使用頻度が最も多い（および少ない）機能、発生する問題の性質に関する情報など、さまざまな情報を提供できます。この情報を基にして、お客様が頻繁に使用する Acronis 製品と機能を向上させることができます。

いずれかを選択してください。

1. **Acronis True Image** メニューの **[Acronis True Image のバージョン情報]** をクリックします。
2. プログラムへの参加をやめるには、**[Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムに参加する]** のチェックボックスをオフにします。

このプログラムへの参加を選択した場合、技術的な情報が毎週、自動的に収集されます。氏名、住所、電話番号、キーボード入力などの個人データは収集されません。CEP への参加は任意ですが、お客様のニーズをいっそう満たすために、ソフトウェアの改善と拡張された機能を提供することを最終的な目的としています。

## 1.7 Acronis へのご意見の送信

Acronis では、製品やサービスの機能、信頼性、速度のさらなる向上を重ね、継続的な改善を実施しています。フィードバック フォームから、解決すべき不便な点や問題点をお寄せいただくことができます。いただいたご意見をもとに Acronis True Image 2015 を改善いたします。お手数ではございますが、製品へのご意見、新機能のご要望、問題のご報告などをぜひお知らせください。ご意見や問題の内容については必ず確認し、分析いたします。

Acronis にご意見を送信するには、次の操作を実行します。

1. **Acronis True Image 2015** のメニューにある **[フィードバックの送信]** をクリックします。フィードバック フォームが開きます。



2. リストからご意見の内容を選択します。
3. 本文を入力します。
4. 名前と電子メール アドレスを入力します。
5. (オプションの手順) ファイルや Acronis システム レポートを添付することもできます。

Acronis システム レポートには、さまざまな技術的な情報 (ハードウェアの設定、OS X のバージョン、システム ログ、Acronis True Image 2015 のイベント ログ、バックアップの設定) が含まれています。

注意: Acronis には、氏名、住所、電話番号、キーボード入力などの個人データは含まれていません。

Acronis True Image 2015 で応答が停止した場合など、重大なエラーが発生した場合は、システム レポートを添付することをお勧めいたします。

6. **[送信]** をクリックします。

## 1.8 テクニカル サポート

### メンテナンスとサポート プログラム

Acronis 製品に関してご質問がある場合は、<http://www.acronis.com/support/> にアクセスしてください。

### 製品の更新

アカウント (<http://www.acronis.com/my>) にログインして製品を登録すると、登録したすべての Acronis ソフトウェア製品の最新のアップデートをいつでもウェブサイトからダウンロードできるようになります。詳細については、「**Registering Acronis Products at the Web Site (ウェブサイトでアクロニス製品を登録する)**」 (<http://kb.acronis.com/content/4834>) および「**Acronis Web Site User Guide (Acronis ウェブサイト ユーザー ガイド)**」 (<http://kb.acronis.com/content/8128>) を参照してください。

## 2 バックアップ

### このセクションの内容

基本的な概念.....	8
バックアップ可能な対象と不可能な対象.....	9
ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ	10
Acronis Cloud へのバックアップ .....	11
スケジュール設定.....	13
バックアップからの項目の除外.....	14
Acronis Cloud データ センターの選択 .....	16
Acronis Cloud とは .....	17

### 2.1 基本的な概念

#### バックアップとリカバリ

バックアップとは、元のデータが失われてもそのコピーからリカバリできるように、データのコピーを作成しておくことです。

バックアップの主な目的は 2 つあります。

- 1 つは、オペレーティング システムが損傷した場合や起動しない場合に、OS をリカバリする『20ページ』という目的です。この処理を災害復旧といいます。災害からの Mac の保護の詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ『10ページ』」、および「Acronis Cloud へのバックアップ『11ページ』」を参照してください。
- もう 1 つは、ファイルやフォルダが誤って削除されたり損傷した後に、特定のファイルやフォルダをリカバリする『22ページ』という目的です。

#### バックアップ バージョン

バックアップ バージョンとは、バックアップの処理が行われるごとに作成されるファイルのことです。各バージョンはそれぞれ特定の時点を表しており、その時点の状態にシステムやデータを復元することができます。

最初のバックアップ バージョンには、バックアップ対象として選択したすべてのデータが含まれます。2 回目以降のバージョンでは、以前のバックアップ バージョンから変更が加えられたデータのみが含まれるようになります。

## バックアップ ファイルの形式

Acronis True Image 2015 では、ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージに Mac をバックアップすると、バックアップ データが独自の .tib 形式に圧縮されて保存されます。 .tib ファイルのバックアップのデータは、Acronis True Image 2015 を使用した場合にのみリカバリできます。

Acronis Cloud 『17ページ』に Mac をバックアップする場合、Acronis True Image 2015 はデータを「現状のまま」保存します。Mac コンピュータであれば、Acronis Cloud ウェブ アプリケーション 『17ページ』を開いて、データをリカバリすることができます。

## スケジュール作成

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に行うには、バックアップのスケジュールを作成します 『13ページ』。

## バックアップ保持ルール

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis True Image 2015 ではバックアップの保存先に新しいバックアップ バージョンが作成されます。最大 10 個のバージョンを 1 つの場所に保存できます。このルールは、Acronis Cloud、およびローカルやネットワークのフォルダの両方に適用されます。11 個目のバージョンを作成する場合は、Acronis True Image 2015 によってバックアップの最も古いバージョンが自動的に削除されます。結果的に、10 個の最新のバックアップ バージョンが常に保存されることとなります。

**注意:** バックアップの保存先がローカルまたはネットワークの場合、新しいバックアップの保存先を設定することで 10 個より多くのバージョンを作成することができます。以前のバックアップ先に保存されているバージョンは削除されません。

## 2.2 バックアップ可能な対象と不可能な対象

バックアップが可能な対象と不可能な対象は次の表のとおりです。

	バックアップの保存先						
	内蔵ドライブ (HDD、SSD 、RAID)	Acronis Cloud	USB ドライ ブ	Thunderbolt	AirPort Time Capsule	ネットワ ーク共有 、NAS	CD、 DVD
内蔵ドライブ(HDD、SSD)	+	+	+	+	+	+	-
USB ドライブ	+	+	+	+	+	+	-
FireWire ドライブ	+	+	+	+	+	+	-
Thunderbolt	+	+	+	+	+	+	-
Fusion Drive	+	+	+	+	+	+	-

FileVault 2 で保護されているハード ドライブ	+	+	+	+	+	+	-
Boot Camp がインストールされているハード ドライブ	+	+	+	+	+	+	-
CD、DVD	-	-	-	-	-	-	-
RAID、Apple RAID	-	-	-	-	-	-	-
ApplePT	-	-	-	-	-	-	-
個別のパーティション	-	-	-	-	-	-	-
特定のファイル	-	-	-	-	-	-	-

## 2.3 ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ

ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージに Mac をバックアップする手順は、次のとおりです。

1. Acronis True Image 2015 を起動します。
2. 次のいずれかを実行します。
  - 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
  - バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップ リストの下にある **[+]** アイコンをクリックします。

*注意: バックアップを削除するには、そのバックアップを選択してから **[-]** アイコンをクリックします。バックアップがリストから削除され、バックアップ ファイルがバックアップ ストレージから削除されます。*

3. **[バックアップのソース]** アイコンをクリックし、バックアップするディスクを選択して、**[OK]** をクリックします。



4. [バックアップの保存先] アイコンをクリックし、バックアップ ファイルを保存する場所を選択して、**[OK]** をクリックします。場所がリストに表示されていない場合は、**[他のターゲットを選択]** をクリックして、場所を選択します。
5. (オプションの手順) 設定を追加します。次の操作を実行できます。
  - 手動でファイルやフォルダを除外するには、**[設定] → [除外]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『14ページ』」を参照してください。
  - バックアップ スケジュールを設定するには、**[設定] → [スケジュール]** の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定 『13ページ』」を参照してください。
  - パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、**[設定] → [暗号化]** の順にクリックします。**[バックアップの暗号化]** チェックボックスをオンにして、パスワードを入力します。このパスワードは後で取得することはできないため、記録するようにしてください。

Acronis True Image 2015 では、256 ビット暗号化キーを使用した AES (Advanced Encryption Standard) 暗号化アルゴリズムでバックアップが保護されます。
6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたなら、**[バックアップの開始]** をクリックします。

Acronis True Image バックアップから Mac をリカバリするには、Acronis ブータブル メディアが必要になります。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、「ブータブル レスキュー メディアの作成 『18ページ』」を参照してください。

## 2.4 Acronis Cloud へのバックアップ

Acronis Cloud の使用を開始する手順は、次のとおりです。

- アカウントがない場合は、Acronis アカウントを作成します 『17ページ』。
- Acronis Cloud サービスにサブスクライブします 『18ページ』。

**Acronis Cloud に Mac をバックアップする手順は、次のとおりです。**

1. Acronis True Image 2015 を起動します。
2. 次のいずれかを実行します。
  - 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
  - バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップ リストの下にある **[+]** アイコンをクリックします。

---

*注意:* バックアップを削除するには、そのバックアップを選択してから **[-]** アイコンをクリックします。バックアップがリストから削除され、バックアップ ファイルがバックアップ ストレージから削除されます。

---

3. [バックアップのソース] アイコンをクリックし、バックアップするディスクを選択して、[OK] をクリックします。



4. [バックアップの保存先] アイコンをクリックし、Acronis Cloud を選択して、[OK] をクリックします。

まだサインインしていない場合は、Acronis マイ アカウントの電子メール アドレスとパスワードを入力し、[サインイン] をクリックします。

Acronis アカウントがない場合は、[アカウントの作成] をクリックして電子メール アドレスとパスワードを入力し、[アカウントの作成] ボタンをクリックします。詳細については、「Acronis アカウントの作成 『17ページ』」を参照してください。

5. (オプションの手順) 設定を追加します。次の操作を実行できます。
  - サードパーティ製のサービスを利用している場合は、サービスで保護されているデータを除外できます。[バックアップの最適化] をクリックして、除外するデータを指定します。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『14ページ』」を参照してください。
  - 手動でファイルやフォルダを除外するには、[設定] → [除外] の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『14ページ』」を参照してください。
  - バックアップ スケジュールを設定するには、[設定] → [スケジュール] の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定 『13ページ』」を参照してください。

---

スケジュールされたバックアップは、Acronis Cloud からサインアウトした後も実行されます。

---

- パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、[設定] → [暗号化] の順にクリックします。[バックアップの暗号化] チェックボックスをオンにして、パスワードを入力します。このパスワードは後で取得することはできないため、記録するようにしてください。

Acronis True Image 2015 では、256 ビット暗号化キーを使用した AES (Advanced Encryption Standard) 暗号化アルゴリズムでバックアップが保護されます。

- 特定のデータ センターを選択するには、**[設定]** → **[詳細]** の順にクリックします。詳細については、「Acronis Cloud データ センターの選択 『16ページ』」を参照してください。
6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたなら、**[バックアップの開始]** をクリックします。

最初のオンライン バックアップは、完了するまでにかなりの時間を要することがあります。以降のバックアップ処理は、ファイルに対する変更のみが転送されるので、大幅に速くなります。

**Acronis True Image** バックアップから **Mac** をリカバリするには、**Acronis** ブータブル メディアが必要になります。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、「ブータブル レスキュー メディアの作成 『18ページ』」を参照してください。

## 2.5 スケジュール設定

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に行うには、バックアップのスケジュールを作成します。デフォルトでは、**Mac** は週単位でバックアップされます。



バックアップのスケジュールを作成する手順は、次のとおりです。

1. **[設定]** で、バックアップ間隔を選択し、開始時刻を指定します。
  - **スケジュールを設定しない**  
このオプションを設定すると、スケジュール設定は無効になります。
  - **日単位**  
指定した時刻で毎日、バックアップが実行されます。
  - **週単位**  
選択した曜日の指定時刻で毎週、バックアップが実行されます。
  - **月単位**  
選択した日付の指定時刻で毎月、バックアップが実行されます。

2. すべての設定が完了したら、**[適用]** をクリックします。

スケジュールが設定された時刻に Mac の電源が切れている、または Mac がスリープモードになっている場合は、次に Mac を起動、またはスリープを解除したときにバックアップが実行されます。

## 2.6 バックアップからの項目の除外

バックアップを開始する前に、バックアップする必要のないデータを除外することでバックアップ サイズを縮小できます。

ファイルやフォルダを次の方法で除外することができます。

- **手動 (すべてのバックアップから)**

項目を除外するには、該当のファイルを明確に指定するか、マスクを使用します。

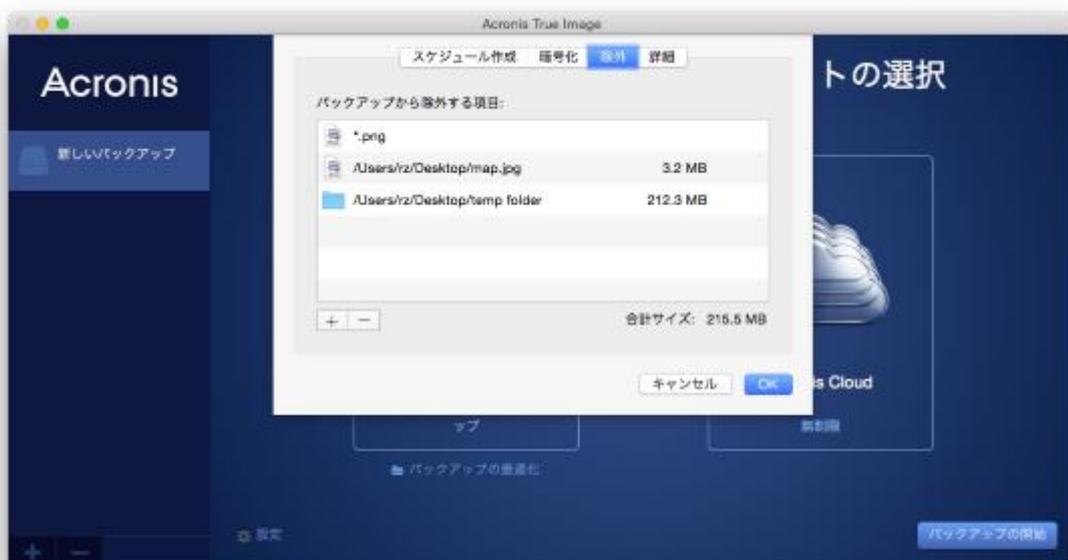
- **自動 (バックアップから Acronis Cloud へ)**

Acronis True Image 2015 によってバックアップ ソースが分析され、サードパーティ製のクラウド ストレージからダウンロード可能なローカル データを除外するように推奨されます。

### 手動で項目を除外する

手動でファイルやフォルダを除外するには、次の操作を実行します。

1. バックアップの設定時に、**[設定]** をクリックして、**[除外]** をクリックします。



2. プラス記号をクリックして、次のいずれかをクリックします。

- **特定のファイルまたはフォルダを除外する**

除外する項目を参照して選択し、**[除外]** をクリックします。

- **マスクごとに除外する**

ワイルドカード文字 (\* および ?) を使用して除外マスクを入力し、**[除外]** をクリックします。

除外マスクの例:

- \*.ext: .ext の拡張子を持つすべてのファイルが除外されます。
- ??name.ext: 拡張子が .ext のファイルで、合計 6 文字（最初の 2 文字が任意の文字 (??) で、残りの部分が name) のファイル名を持つすべてのファイルが除外されます。

3. **[OK]** をクリックします。

### リカバリ可能なデータをオンライン バックアップから除外

Acronis True Image 2015 では、Google Drive や Dropbox などのサードパーティ製クラウド サービスにアップロード済みまたは同期済みのローカル データを除外することができるようになりました。このデータは既に確実に保護されており、コンピュータへのダウンロードも簡単に実行できます。そのため、Acronis Cloud へのアップロードは不要になりました。これらのデータを除外してバックアップ サイズを縮小し、バックアップ処理の速度を向上させることができます。

次のサービスで保護されているデータを除外できます。

- iTunes
- Dropbox
- Microsoft OneDrive
- Google Drive
- BoxSync
- Yandex.Disk
- SugarSync

次の条件を満たしている場合にのみ、Acronis True Image 2015 によってデータの除外が推奨されます。

- サードパーティ製のサービスが現在有効化されている。
- 対応するフォルダに 250 MB を超えるデータが保存されている。

バックアップから項目を除外するには、次の操作を実行します。

1. バックアップ処理を開始する前に、バックアップ ソースのアイコンの下にある [バックアップの最適化] をクリックします。



2. 除外する項目の横にあるチェックボックスをオフにして、[終了] をクリックします。

## 2.7 Acronis Cloud データ センターの選択

Acronis Cloud にバックアップを作成すると、各国の Acronis データ センターの 1 つにデータがアップロードされます。はじめに、データ センターは、Acronis アカウントの作成時の場所に最も近い場所が指定されます。それ以降は、デフォルトの場合、オンライン バックアップや同期済みファイルは同じデータ センターに保存されます。

他の国に居住している場合、またはデフォルトのデータ センターが現在地から最も近い場所ではない場合、バックアップ用のデータ センターを手動で設定することをお勧めします。データ アップロード速度を大幅に高めることができます。

---

*注意: 既存のバックアップに対しては、データ センターを変更できません。*

---

データ センターを選択するには、次の手順を実行します。

1. オンライン バックアップの設定時に、**[設定]** をクリックして、**[詳細]** をクリックします。



2. 現在地から最も近い国を選択し、**[OK]** をクリックします。

## 2.8 Acronis Cloud とは

### リモート ストレージ

Acronis Cloud は、バックアップを保存するために使用できる安全なリモート ストレージです。ファイルはリモート ストレージに保存されているため、災害やデータ破損が発生した場合、Mac 全体の内容をリカバリできます。

Acronis True Image for Windows をご使用の場合は、ファイル バックアップ、ディスク イメージ、Acronis Cloud に同期済みのファイルのバージョンを保存することもできます。

**Acronis Cloud の使用を開始する手順は、次のとおりです。**

- アカウントがない場合は、Acronis アカウントを作成します 『17ページ』。
- Acronis Cloud サービスにサブスクライブします 『18ページ』。

### ウェブ アプリケーション

また、Acronis Cloud は、Acronis Cloud に保存したデータのリカバリと管理に使用できるウェブ アプリケーションでもあります。インターネットに接続されている Mac または PC を使用してアプリケーションを操作することができます。

アプリケーションを使用するには、<https://www.acronis.co.jp/my/online-backup/> にアクセスし、アカウントにログインして、**[データを今すぐリカバリする]** をクリックします。

### 2.8.1 Acronis アカウントの作成

Acronis Cloud サービスを使用するには、Acronis アカウントが必要です。

**Acronis アカウントを作成する手順は、次のとおりです。**

1. Acronis True Image 2015 を起動します。
2. バックアップの保存先として Acronis Cloud を選択します。ログイン ウィンドウが開きます。
3. **[アカウントの作成]** をクリックします。
4. 登録フォームに入力します。

---

個人データを安全に維持するために、アカウント用の強力なパスワードを選択して、悪意のある第三者に知られないように保護し、時々変更してください。

---

5. **[アカウントの作成]** をクリックします。
6. 登録した電子メール アドレスにメッセージが送信されます。このメッセージを開き、アカウントの作成を確認して登録を完了します。

## 2.8.2 Acronis Cloud のサブスクリプション

Acronis Cloud にバックアップするには、Acronis Cloud サービスのサブスクリプションが必要です。Acronis True Image 2015 の使用を開始する場合、無制限のストレージ領域および 30 日間の無料のサブスクリプションがアカウントに自動的に割り当てられます。

試用版のサブスクリプションの期限が切れた後 30 日間、Acronis Cloud はリカバリ専用モードで動作します。この期間が過ぎると Acronis Cloud サービスは利用できなくなり、Cloud のデータはすべて削除されます。

Acronis Cloud のフル サブスクリプションは Acronis ウェブサイト (<https://www.acronis.com/ja-jp/my/online-backup/index.html>) で購入できます。

## 3 ブータブル レスキュー メディアの作成

ブータブル レスキュー メディアとは、ブート ファイルが格納されているリムーバブル ドライブです。Mac が起動しない場合は、ドライブを使用して Acronis リカバリ環境を起動し、作成済みのバックアップから Mac をリカバリします。

まだバックアップを用意していない場合は作成してください。詳細については、「ローカルストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『10ページ 』」および「Acronis Cloud へのバックアップ 『11ページ 』」を参照してください。

---

 ブータブル メディアを使用することが、Acronis True Image 2015 のバックアップから Mac をリカバリする唯一の方法です。

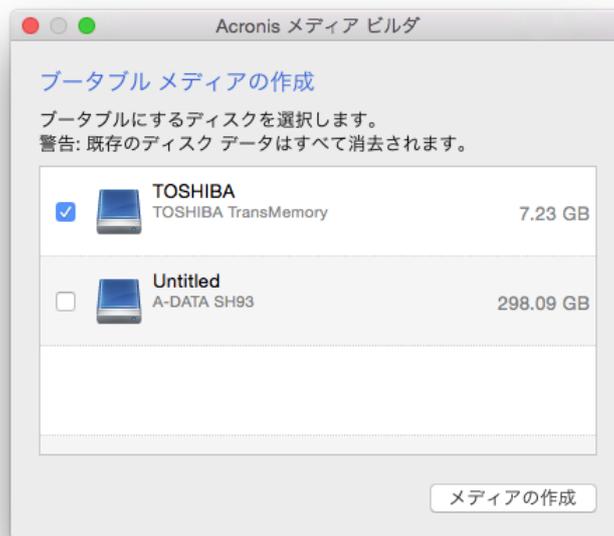
---

**Acronis ブータブル レスキュー メディアを作成する手順は、次のとおりです。**

1. Mac にリムーバブル ドライブを接続します。

ドライブには 4 GB (またはそれ以上) の空き容量が必要です。具体的には、外付けハードディスク ドライブや USB フラッシュ ドライブを使用することができます。CD および DVD メディアはサポートされていないのでご注意ください。
2. Acronis True Image 2015 を起動します。
3. **[ファイル]** メニューの **[ブータブル メディアの作成]** をクリックします。[Acronis メディア ビルダ] ウィンドウが開きます。

- ブータブルにするドライブを選択します。



- [メディアの作成]** をクリックします。ドライブが空でない場合は、Acronis True Image 2015 によって、ドライブに保存されているすべてのデータが削除されることを確認するように求められます。確認するには、**[消去]** をクリックします。
- 処理が完了したら、メディアを取り外して安全な場所で保管します。メディアにデータを保存することはできますが、Acronis ブート ファイルは削除したり変更しないようにしてください。

---

Mac OS X を新しいバージョンにアップグレードするたびに、新しいレスキュー メディアを作成することをお勧めします。作成しなかった場合、レスキュー メディアが正常に機能しなくなることがあります。

---

## 4 リカバリ

### このセクションの内容

Mac をリカバリするタイミング.....	19
Mac のリカバリ.....	20
Boot Camp パーティションに関する FAQ.....	22
ローカル バックアップからのファイルのリカバリ.....	22
Acronis Cloud からのファイルのリカバリ.....	23

### 4.1 Mac をリカバリするタイミング

コンピュータが起動しない、または Mac OS X や一部のアプリケーションが正常に動作しない場合は、ディスク イメージからオペレーティング システムをリカバリするタイミングといえるでしょう。最初に、問題の原因を特定することをお勧めします。

システム エラーの原因には、2 つの基本的な要因があります。

- **ハードウェア障害**

この場合は、ハードウェア メーカーのサービス センターに問い合わせることをお勧めします。

- **オペレーティング システム、アプリケーション、またはデータの損傷**

障害の原因がウイルス、マルウェア、システム ファイルの損傷である場合は、バックアップからシステムをリカバリします。詳細については、「Mac のリカバリ 『20ページ』」を参照してください。

問題の原因を特定する手順は、次のとおりです。

1. ケーブル、コネクタ、外付けデバイスの電源などを確認します。
2. Mac を再起動します。Mac の起動中に **Option** キーを押し続けます。リカバリ メニューが表示されます。
3. 一覧から **[ディスク ユーティリティ]** を選択し、**[続行]** をクリックします。
4. 確認するディスクを選択し、**[First Aid]** をクリックします。

ディスク故障の可能性がディスク ユーティリティによって示された場合は、ディスクの物理的な状態に原因があります。たとえば、不良セクタが含まれている可能性があります。可能な限り早くディスクをバックアップして置き換えることをお勧めします。
5. **[ディスクを検証]** をクリックします。
  - エラーが存在する場合は、**[ディスクを修復]** をクリックします。ディスクが正常であること、または修復されたことがディスク ユーティリティによって示された場合は、Mac を再起動し、通常の使用を継続します。エラーが解消されない場合は、True Image バックアップから Mac をリカバリします。詳細については、「Mac のリカバリ 『20ページ』」を参照してください。
  - ディスク ユーティリティでエラーが検出されなかった場合は、True Image バックアップから Mac をリカバリします。詳細については、「Mac のリカバリ 『20ページ』」を参照してください。

## 4.2 Mac のリカバリ

Mac が起動しない、または正常に動作しない場合は、次の手順を実行して Mac をリカバリします。

Mac をリカバリする手順は、次のとおりです。

1. 次のものが用意されていることを確認してください。
  - 作成済みの True Image バックアップ。バックアップがない場合はリカバリを実行できません。詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『10ページ』」 および 「Acronis Cloud へのバックアップ 『11ページ』」 を参照してください。
  - Acronis ブータブル レスキュー メディア。用意していない場合は、Mac で Acronis True Image 2015 を起動し、可能な限り早くメディアを作成してください。詳細については、「ブータブル レスキュー メディアの作成 『18ページ』」 を参照してください。
2. Mac にブータブル メディアを接続します。
3. Mac を起動または再起動します。Mac の起動中に **Option** キーを押し続けます。ブートメニューが表示されます。

4. 起動元のデバイスとして Acronis メディアを選択します。OS X のユーティリティの一覧が表示されます。



5. [True Image のバックアップからリカバリ] を選択して、[続行] をクリックします。
6. 表示されたウィンドウで、バックアップの場所を選択します。
  - ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージ: バックアップを選択して、[開く] をクリックします。
  - Acronis Cloud: Acronis アカウントにサインインし、バックアップを選択して [開く] をクリックします。
7. 一覧から Mac のリカバリに使用するバックアップのバージョンを選択して、[次へ] をクリックします。選択したバージョンの内容が表示されます。
8. リカバリ対象のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにします。



9. 各パーティションのリカバリ先を選択します。
10. リカバリを開始するには、[リカバリする] をクリックし、リカバリ先のパーティションにあるデータをすべて消去することを確認します。
11. リカバリが完了したら、Mac を再起動します。

## 4.3 Boot Camp パーティションに関する FAQ

- **Boot Camp** パーティションをバックアップするにはどうすればよいですか？  
Boot Camp がインストールされているハード ドライブをバックアップします。バックアップには、ドライブに保存されているすべてのデータ (Boot Camp パーティションを含む) が格納されます。
- **Boot Camp** パーティションを個別にバックアップすることはできますか？  
Acronis True Image 2015 ではディスク レベルのバックアップのみを作成することが可能なため、個別にバックアップすることはできません。代替の方法として、Boot Camp パーティションが含まれているハード ドライブをバックアップすることができます。
- **Boot Camp** パーティションをリカバリするにはどうすればよいですか？  
リカバリはブータブル メディア環境で実行できます。リカバリ元およびリカバリ先を選択するとき、一覧表示されるパーティションをすべて選択します。この操作により、ハード ドライブ全体がリカバリされます。Boot Camp パーティションのみをリカバリするには、該当のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにして、それ以外のチェックボックスをオフにします。
- リカバリを実行する前に **Boot Camp** パーティションのサイズを変更することはできますか？  
Boot Camp パーティションのサイズはバックアップ時と同じであるため、サイズを変更することはできません。
- **Boot Camp** パーティションのリカバリ先として選択できる場所はどこですか？  
任意のリカバリ先を選択できますが、Boot Camp パーティション自体にリカバリを実行することを強くお勧めいたします。
- バックアップ済みの **Boot Camp** パーティションから特定のファイルをリカバリすることはできますか？  
その他のファイルのリカバリ方法と同様に、制限なくファイルをリカバリすることができます。
- ハード ドライブを新しいものに取り替えたいのですが、新しいハード ドライブに **OS X**、**Boot Camp** パーティション、すべてのデータのクローンを作成できますか？  
作成できます。クローンを作成するには、次の操作を実行します。
  1. 外部のストレージ メディア (Acronis Cloud、USB ドライブ、ネットワーク共有など) にハード ドライブをバックアップします。
  2. Mac の電源をオフにし、ハード ドライブを新しいものに交換します。
  3. Acronis ブータブル レスキュー メディアを使用して Mac を起動します。
  4. バックアップから新しいハード ドライブに Mac をリカバリします。

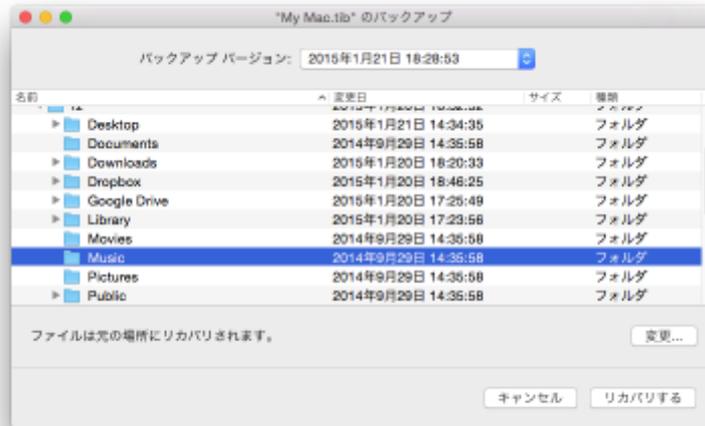
## 4.4 ローカル バックアップからのファイルのリカバリ

バックアップから特定のファイルやフォルダを復元する必要がある場合は、次の手順を実行します。

ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージに保存されているバックアップからのリカバリ

ファイルやフォルダをリカバリする手順は、次のとおりです。

1. Acronis True Image 2015 を起動します。
2. 左側のペインで、リカバリするファイルやフォルダが含まれているバックアップを選択します。
3. **[ファイルのリカバリ]** をクリックします。バックアップの内容がウィンドウに表示されます。



4. **[バックアップ バージョン]** の一覧で、バックアップ作成日をもとにバックアップ バージョンを選択します。この手順を行うことで、ファイルおよびフォルダが指定の日付に保存された状態にリカバリされます。
5. リカバリするファイルまたはフォルダを選択します。**[検索]** フィールドを使用することもできます。
6. リカバリを開始するには、**Finder** でファイルまたはフォルダをリカバリ先にドラッグします。処理が完了すると、データは、選択した日時の状態にリカバリされ、選択した場所に保存されます。

## 4.5 Acronis Cloud からのファイルのリカバリ

Acronis Cloud に保存されているオンライン バックアップから特定のファイルやフォルダをリカバリできます。この処理を実行するには、まず Acronis Cloud ウェブ アプリケーションを起動する必要があります。

**Acronis Cloud ウェブ アプリケーションを起動するには、次のいずれかを実行します。**

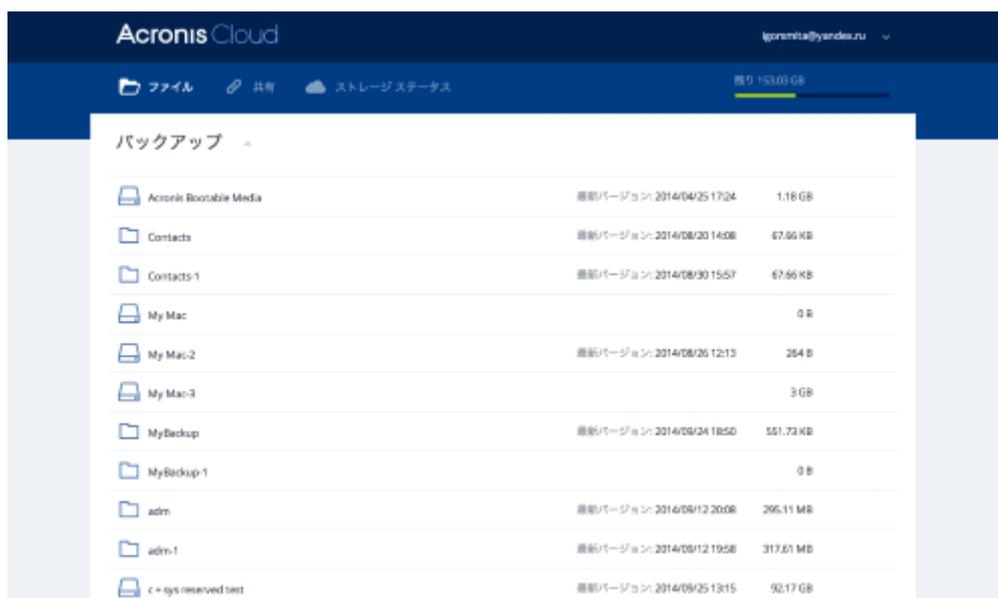
– Acronis True Image 2015 がインストールされている Mac で、次の操作を実行します。

1. Acronis True Image 2015 を起動します。
2. 左側のペインで、リカバリするファイルやフォルダが含まれているバックアップを選択します。
3. 右側のペインで、**[ファイルの参照]** をクリックします。

– インターネット接続のある Mac で、次の操作を実行します。

1. ウェブ ブラウザで、<https://www.acronis.com/my/online-backup> を開きます。
2. Acronis アカウントにログインします。
3. **[今すぐデータをリカバリする]** をクリックします。

ブラウザでウェブ アプリケーションが起動します。



## 最新バージョンのファイルとフォルダのリカバリ

ファイルやフォルダをリカバリする手順は、次のとおりです。

1. Acronis Cloud ウェブ アプリケーションの **【ファイル】** タブで、リカバリするファイルまたはフォルダを選択します。[検索] フィールドを使用することもできます。
2. リカバリを開始するには、**【ダウンロード】** をクリックします。  
データは **【ダウンロード】** フォルダにダウンロードされます。

## 以前のファイル バージョンへのリカバリ

このオプションはフォルダには適用されません。

特定のファイル バージョンをリカバリする手順は、次のとおりです。

1. Acronis Cloud ウェブ アプリケーションの **【ファイル】** タブで、リカバリするファイルを選択します。[検索] フィールドを使用することもできます。
2. ファイルを選択してファイルの右側にある歯車アイコンをクリックし、**【バージョンの表示】** をクリックします。
3. 表示されたウィンドウで、作成日に基づいて目的のバージョンを選択します。現在のバージョンは、その時点における状態に戻されます。



4. **[リカバリする]** をクリックして続行します。選択したバージョンが Acronis Cloud の最新バージョンになります。
5. 処理が終了したら、ウェブ ブラウザで **[ファイル]** ページを更新します。
6. もう一度ファイルを選択して、**[ダウンロード]** をクリックします。  
ファイルは **[ダウンロード]** フォルダにダウンロードされます。

## 著作権情報

Copyright © Acronis International GmbH, 2002-2014. All rights reserved.

Acronis、Acronis Compute with Confidence、Acronis リカバリ マネージャ、Acronis セキュアゾーン、Acronis True Image、Acronis Try&Decide、および Acronis ロゴは、Acronis International GmbH の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

VMware および VMware Ready は、VMware, Inc. の米国ならびにその他の地域における商標または登録商標です。

Windows および MS-DOS は、Microsoft Corporation の登録商標です。

ここに記載されているその他すべての商標および著作権は、それぞれの権利所有者に帰属します。

著作権所有者の明示的な許可なく本ドキュメントの実質的な修正版を配布することは禁止されています。

著作権所有者からの事前の許可がない限り、いかなる形態（紙媒体など）であっても商業目的で本ドキュメントまたはその派生物を配布することは禁止されています。

ドキュメントは、「現状のまま」で提供され、商品性に対する黙示的保証、特定の目的に対する適合性、権利を侵害していないことなどを含む明示的または黙示的な条件、言明、および保証に関する責任を負いません（免責条項の範囲が法的に無効と見なす場合を除く）。

本ソフトウェアまたはサービスにサードパーティのコードが付属している場合があります。サードパーティのライセンス条項の詳細については、ルート インストール ディレクトリにある `license.txt` ファイルをご参照ください。本ソフトウェアまたはサービスと共に使用するサードパーティ コードおよび関連するライセンス条項の最新の一覧については、<http://kb.acronis.com/content/7696> をご参照ください。

## Acronis の特許取得済みの技術

この製品で使用されているテクノロジーは、1 つ以上の米国特許番号（7,047,380、7,275,139、7,281,104、7,318,135、7,353,355、7,366,859、7,475,282、7,603,533、7,636,824、7,650,473、7,721,138、7,779,221、7,831,789、7,886,120、7,895,403、7,934,064、7,937,612、7,949,635、7,953,948、7,979,690、8,005,797、8,051,044、8,069,320、8,073,815、8,074,035、8,145,607、8,180,984、8,225,133、8,261,035、8,296,264、8,312,259、8,347,137、8,484,427、8,645,748、8,732,121 および特許出願中）の対象として保護されています。